

# エコアクション 21 環境経営レポート

(2022年06月01日～2023年05月31日)

2023年07月31日  
徳山産業株式会社

# CONTENTS

I.事業活動の概要	1
II.環境経営方針	2
III.環境経営目標と環境経営計画	3.4.5
1. 環境経営目標とその実績	
2. 二酸化炭素排出量の実績	
3. 環境経営計画及び取組み結果とその評価	
4. 2021年度の環境経営目標及び環境経営計画	
IV.環境関連法規制等の遵守状況	5
V.代表者の全体評価と見直しの結果	5

# I 事業活動の概要



## 概要

- 事業者名  
徳山産業株式会社
- 代表者名  
代表取締役 池田 恭二郎
- 住所及び連絡先  
〒731-1504  
広島県山県郡北広島町寺原 3687  
電話番号 0826-72-2294

- 環境管理責任者  
代表取締役 池田 恭二郎

- 事業内容  
自動車用ゴム部品、  
及びその他工業用ゴム製品の  
製造販売

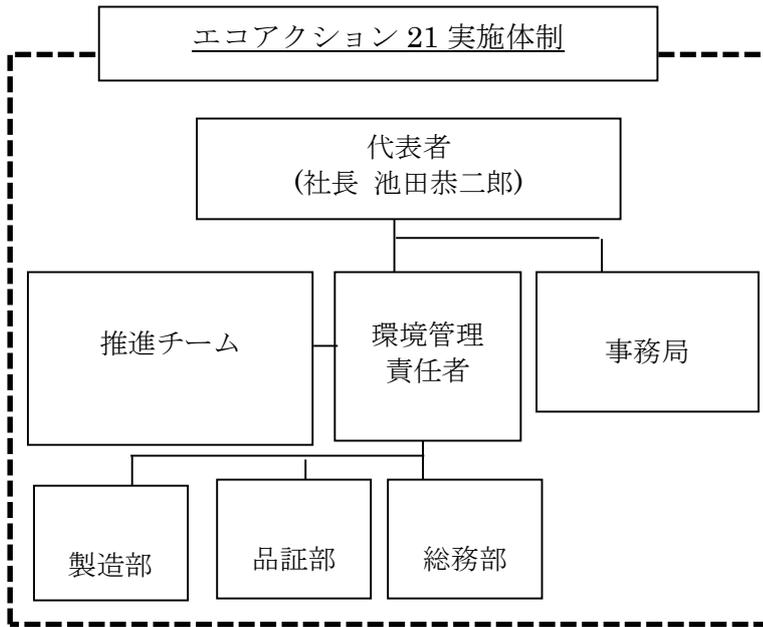
- 設立  
昭和 42 年 12 月

## 事業の規模

- 資本金 1,000 万円
- 売上高 336 百万円  
(2022 年 06 月 01 日～2023 年 05 月 31 日)
- 従業員 37 名
- 延べ床面積 1118 ㎡

## 対象範囲

- 本社・工場



## 役割・責任・権限

- 代表者
  - ・ EA21 システムの統括
  - ・ 経営における課題とチャンスの明確化
  - ・ 環境経営方針の策定
  - ・ 実施体制の構築
  - ・ 全体の評価と見直し
- 環境管理責任者
  - ・ EA21 システムの構築・運用
  - ・ 上記状況の代表者への報告
- 事務局
  - ・ 環境管理責任者の補佐
- 推進チーム
  - ・ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の従業員への周知
  - ・ 環境負荷の把握
- 各部門長
  - ・ 各部門に関連する環境経営計画の実行等 EA21 システムの運用
- 従業員
  - ・ 環境経営方針や各自の役割を理解し環境経営に取り組む

## Ⅱ 環境経営方針

### 【基本理念】

当社は、従業員の豊かな生活の実現と社会の発展に寄与し、企業の社会的責任を果たすため、地球温暖化など環境問題が人類共通の課題であることを認識し、事業活動をとおして積極的に環境保全活動に取り組みます。

### 【行動指針】

1. 適用される環境関連法規制や顧客要求事項を遵守します。
2. 環境目標を定めその達成に向けて活動するとともに、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取組として、次のことを推進します。
  - (1) 省資源及び省エネルギー
  - (2) 改善活動と顧客満足度の向上
  - (3) 地域環境に配慮した業務運営

制定日：2008年08月26日

改定日：2018年07月11日

徳山産業株式会社

代表取締役 池田恭二郎

### Ⅲ 環境経営目標と環境経営計画

#### 1. 2022年度の環境経営目標とその実績

##### (1) 環境経営目標

項目	単位	基準	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO2/ 年	384,224 2019年	372,697 (3%減)	368,855 (4%減)	365,012 (5%減)
産業廃棄物 排出量の削減	t/年	26.25 2017年	24.9 (5%減)	24.6 (6%減)	24.4 (7%減)
一般廃棄物の削減 (排出袋の削減)	袋/年	379 2019年	367 (3%減)	363 (4%減)	360 (5%減)
改善活動の推進	件/年	48	48	48	48
クレームの削減	件/年	0	0件	0件	0件
事業所周辺の清掃活動	回/年	2	2回	2回	2回
(備考)					
1. 製品の脱脂用として使用しているトルエンなど少量の化学物質は、適切に管理していることを定期的に確認することとしています。					
2. 水（地下水）は、ほとんどが製造機械冷却水であり自らの判断で削減することが困難です。 そのほか生活排水の節水も定着していることから、削減目標は設定せず、使用量の把握と節水の状況を確認・評価することとしています。					

##### (2) 環境経営目標の実績（2022年06月～2023年05月）

項目	単位	目標値	実績	評価	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/年	372,697	449,766	×	
産業廃棄物排出量の削減	t/年	24.9	28.0	×	
一般廃棄物の削減（排出袋の削減）	袋/年	367	500	×	
改善活動の推進	件/年	48	14	×	
クレームの削減	件/年	0	0	○	
事業所周辺の清掃活動	回/年	2	2	○	
化学物質使用量 (含有量)	ジクロロメタン	kg/年	—	0.0	—
	トルエン	kg/年	—	41.82	—
水使用量	m <sup>3</sup> /年	—	5,731	—	

## 2. 2022 年度の二酸化炭素排出量の実績

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
総排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	400,962	414,499	449,766
売上当たりの排出量 (kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	1241	1226	1338

電力の CO<sub>2</sub> 排出係数適用数値・・・

今年度分及び過去年度分とも環境省・経済産業省公表の H30 年(2018 年)度調整後排出係数を適用  
 サミットエネルギー 0.524(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

CO<sub>2</sub> 排出量…電力：440,106 kg-CO<sub>2</sub>/年 ガソリン：1,688 kg-CO<sub>2</sub>/年

軽油：2,367 kg-CO<sub>2</sub>/年 灯油：5,418 kg-CO<sub>2</sub>/年 他 187 kg-CO<sub>2</sub>/年

## 3. 2022 年度の環境経営計画及び取組結果とその評価

環境経営計画	取組結果と評価
<u>二酸化炭素排出量の削減</u> ・CO <sub>2</sub> 排出係数の低い業者の選定 <u>電力削減</u> ・空調温度管理の徹底 ・省エネルギー省資源の呼びかの徹底 <u>化石燃料(ガソリン他)の削減</u> ・異常消費の削減・管理の強化	業者選定においては、なかなか良い業者と巡り合えておらず、現状の電力会社となっており、判断が難しいのが現状である。電力削減は、夏場の使用電力の削減の為、エアコン、プレス機、キュービクルの入れ替え検討を行った。来年度以降設備の入れ替えを進める。
<u>産業廃棄物排出量の削減</u> ・不良率の低減 ・分別の徹底 ・指導管理の強化	増加しており、対策を強化する必要がある。初歩的なミスも散見されており、教育の徹底をする必要がある。
<u>一般廃棄物排出量の削減</u> ・両面コピーの徹底 ・裏紙使用の徹底呼掛け	目標値を大幅にオーバーした。夏場の猛暑対策でドリンク等の会社支給品ゴミの影響もあるが、引き続き削減にむけ活動する
<u>改善活動の推進</u>	活動の報告が少ないが、細かな改善は日々行えてきている
<u>クレームの削減</u>	良好
<u>事業所周辺の清掃活動</u>	計画的に活動が行え、地域にも貢献できているものとする

#### 4. 2023 年度の環境経営目標及び環境経営計画（2023 年 06 月～2024 年 05 月）

環境経営目標		環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 使用量の目標値	△4% 368,855kg-CO2/年	○工程ロスの削減 ○空調温度管理、他
産業廃棄物排出量の削減 排出目標値	△6% 24.6t/年	○不良率の低減 ○分別の徹底、他
一般廃棄物排出量の削減（対象：紙ごみ） 排出目標値	△4% 363 袋/年	○紙使用の削減呼掛け ○裏紙使用の徹底呼掛け
改善活動の推進 （効果測定実施可能分） 提出目標件数	48 件/年	○部門会議での結果報告 ○全体朝礼で提出呼び掛け
クレームの削減 発生日目標件数	0 件/月	○品質会議での結果報告
事業場周辺の清掃活動 実施目標	2 回/年	○地域環境活動 2 回

※2019 年度を基準値とする。

## IV 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制と遵守状況は以下の通りです。

適用される環境関連法規制	要求事項	遵守評価	備考
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理	○	
毒物劇物取締法	適正管理・表示	○	
フロン排出抑制法	業務用空調設備の簡易点検	○	

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、ここ 3 年間における法令違反及び苦情の発生はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘や訴訟もありませんでした。

## V 代表者の全体評価と見直しの結果

猛暑対策は生命にかかわる最も大切と言っても過言ではない為、設備更新や工場内環境の改善を早期に進めなければならない。一人一人の改善アイデアでより環境に配慮でき、安心安全な職場環境にする為、一丸となって行動をしていく。

地域草刈り活動  
2023年5月2日実施





校内・地域清掃活動  
2022年6月17日実施



